

労働災害が多い職場です

- ▶ 発生頻度（人当たり）が高い！
全産業、製造業平均の2倍以上



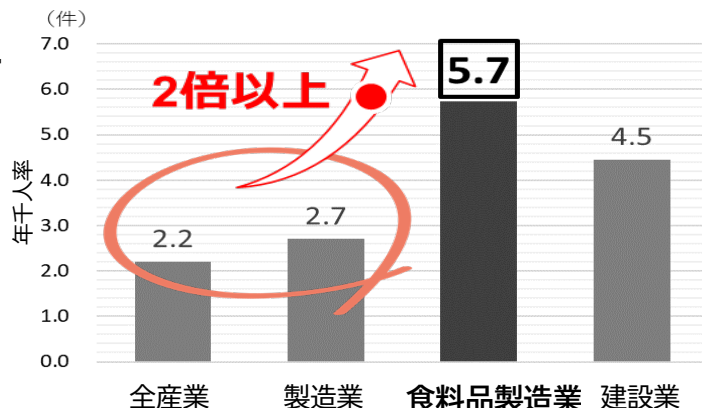
- ▶ 発生頻度（時間当たり）が高い！
全産業の約2倍
製造業平均の約3倍！



- ▶ 発生件数の増加率が
全産業の2～3倍！

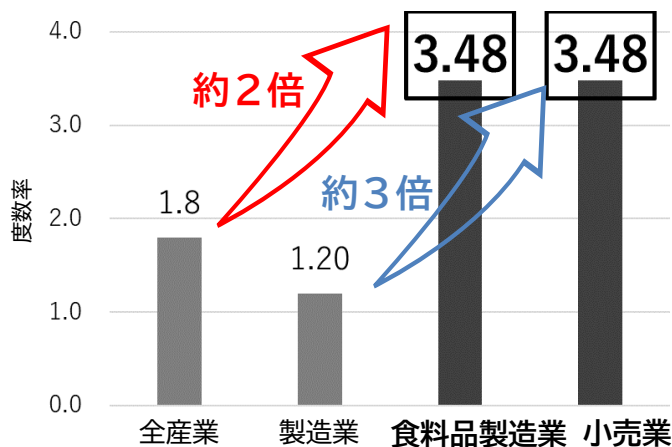


労働者1,000人当たりの年間発生死傷者数（休業4日以上）



資料：令和元年厚生労働省「労働者死傷病報告」、総務省「労働力調査」

100万延べ実労働時間当たりの労働災害の死傷者数（休業1日以上）



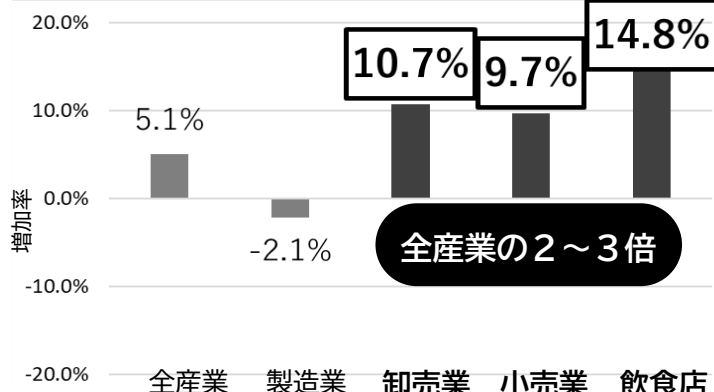
資料：厚生労働省「令和元年労働災害動向調査」

※事業所規模100人以上

※食料品製造業には、たばこ・飼料製造業を含む

※小売業には、飲食料品以外の小売業を含む

死傷者数（休業4日以上）の増加率（5年間）



資料：厚生労働省「労働者死傷病報告」 平成26年対令和元年比較

※卸売業・小売業には、飲食料品以外の卸売業・小売業を含む

なぜ労働災害が多いのか

▶ 職場環境の特徴

- 労働集約型産業で人手のかかる作業が多い
- 水や油を使って加熱調理をするから、転倒や火傷災害のリスクが高い
- 包丁などの刃を使った作業があるため、指を切るなどリスクがある
- 長時間労働、休みがとりにくい職場であり、過重労働につながりやすい
- 同じ作業の繰り返し、立ち作業が比較的多く、疲労がたまりやすい
- 他の製造業の工場と比べて人と機械の可動部との距離が近い など・・・

▶ 働く人の特徴

- パートタイマー・アルバイト等の入れ替わりが激しく、シフト制もあり、教育の効果을あげるのが難しい
- 大けがをするような危険な職場だと認識していない
- 働く高齢者が増えている など・・・

▶ 食品企業の特徴

- 食の安全（異物混入、食中毒）、ジャストインタイムの納期遵守など注力すべき経営課題が多く、限られた人材と費用の中で労働災害対策まで手が回らず、優先順位が低い
- 大けがをするような危険な職場だと認識していない など・・・

労働災害によるダメージ ①

▶ 災害発生

開店前準備中に、濡れた床に足を滑らせ、転倒した。

骨折
(休業1か月)

▶ 原因

- ・ 店舗内は走ってはいけないルールがあったが、守られていなかった。
- ・ 床が濡れたままになっていて、拭き取られていなかった。
- ・ 防滑靴を履いていたが、靴底がすり減っていた。



▶ この事例による企業の損失

人的 損失

- 従業員の休業による人手を補うため、採用の手間とコストがかかった

経済的 損失

- 労働災害が頻発し、労災保険の保険料負担が増えた

社会的 損失

- 従業員に近隣のパートタイマーが多いため、「ケガ等、労働災害が多い」とすぐに近隣で噂が広がった

▶ 対策

- ・ 床濡れや油汚れなどを発見したら、直ちに拭き取り清掃する。
- ・ 安全作業ルールを整備して従業員に教育し、安全パトロールなどで順守状況を確認する。
- ・ 防滑靴を支給して着用を徹底する。また、靴底がすり減っていないか定期的にチェックする。

労働災害によるダメージ ②

▶ 災害発生

肉をカットしようとしたときに、指を切ってしまった。

切創
(休業4日間)

▶ 原因

- ・ 包丁が手入れされておらず、切りにくく余計な力が入った。
- ・ 経験の浅いアルバイト従業員が作業していた。



▶ この事例による企業の損失

人的 損失

- 労働災害が重なって複数の従業員が休業し、営業することができなかった

経済的 損失

- 報道やSNSで拡散されたことで売上が減少した

社会的 損失

- 休業後、退職したアルバイト従業員が労働環境をSNSで拡散し、企業イメージが悪くなった

▶ 対策

- ・ 無理な力を入れずに作業できるよう、包丁は切れるように研いでおく。
- ・ 刃物を使った作業を見直す（店内加工をなくせないか工夫する）。
- ・ 耐切創手袋を着用する。
- ・ 職場において安全衛生教育を十分に実施する。

労働災害によるダメージ ③

▶ 災害発生

濡れた床で転倒し、寸胴を引っ掛け、中に入っていた熱湯が全身にかかり火傷した。

火傷
(休業3か月)

▶ 原因

- ・ 水濡れや油汚れで床が滑りやすい状態だった。
- ・ 不要な物で作業スペースが狭く、作業者と火傷するリスクが近接していた。



▶ この事例による企業の損失

人的 損失

- 火傷直後の処置を誤り、従業員に障害が残ってしまった
- 被災者は元の職場に戻るのを怖がり、結局退職してしまった

経済的 損失

- 治療費や休業補償の一部、見舞金など労災保険で賄われない部分でまとまった支出が発生

社会的 損失

- 従業員から訴訟を起こされ、「ブラック企業」との風評被害が広がった

▶ 対策

- ・ 水濡れや油汚れに気づいたらすぐに清掃する。
- ・ 不要な物を整理し、作業スペースを確保する。
- ・ 床面を滑りにくいように改修する。
- ・ スープサーバーなどを導入し、火傷する危険性がある作業をなくす。
- ・ 火傷後の応急処置・手当方法を決める。

労働災害によるダメージ ④

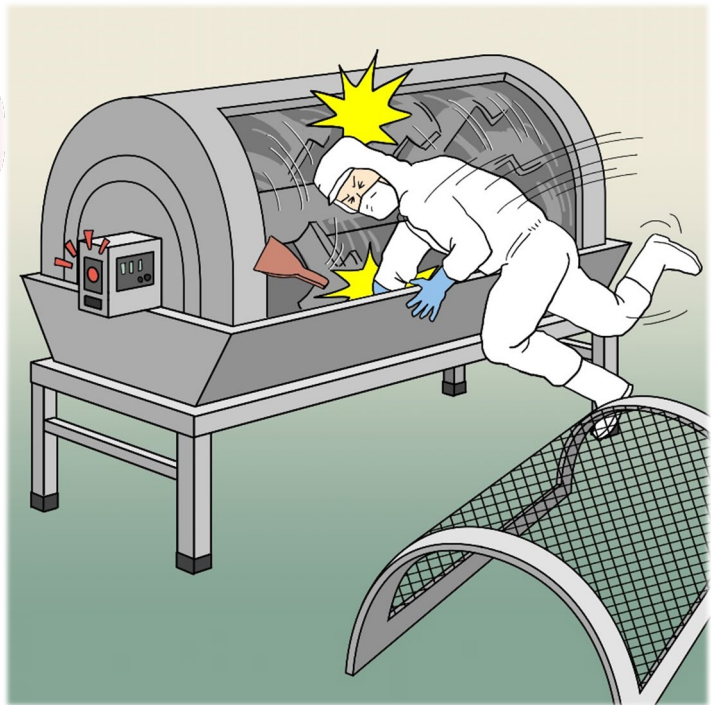
▶ 災害発生

攪拌機（ミキサー）で作業中、作業者が攪拌羽に巻き込まれて死亡した。

死 亡

▶ 原因

- ・ 機械を停止させずに内部の側壁に付いた生地の掻き落とし作業を行っていた。
- ・ インターロック機構がなく、非常停止スイッチを作業者の手の届かない位置に設置していた。
- ・ 生地を掻き落とし作業のときに、機械を停止すべきことを作業者に教育していなかった。



▶ この事例による企業の損失

人的 損失

- ベテランの技術やノウハウの多くを失うことになった
- 代わりの人が嫌がり、補充が困難

経済的 損 失

- 訴訟で企業の落ち度が認められ、多額の賠償金を支払うことになった

社会的 損 失

- 労働安全衛生法違反の容疑で書類送検された
- 報道で広く知られることとなり、一部の顧客は取引停止になった

▶ 対策

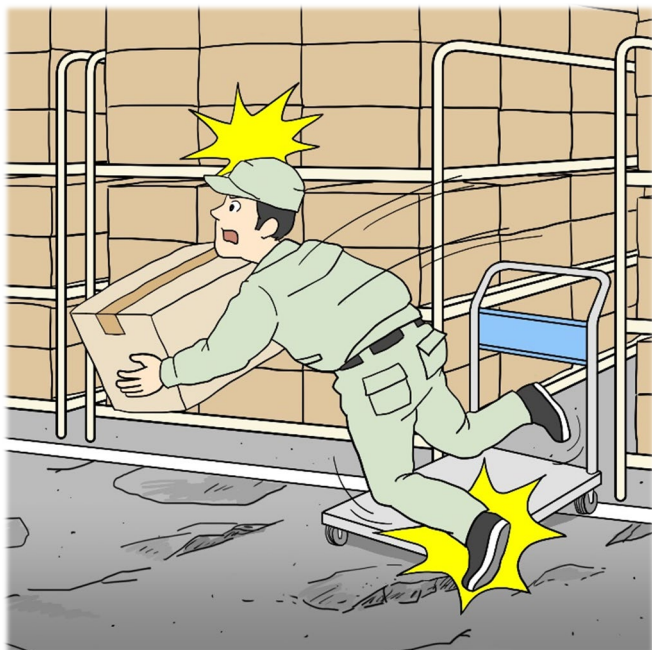
- ・ 扉を開けた時に機械が停止するインターロック構造にし、機械開口部には安全ガードを設置する。
- ・ 作業位置から容易に操作できるところに非常停止ボタンを設ける。
- ・ 非定常作業を含めて作業手順書に安全のポイントを明記し、安全作業教育を実施する。

あなたの職場は大丈夫ですか？

こんな職場は労働災害が起こりやすい

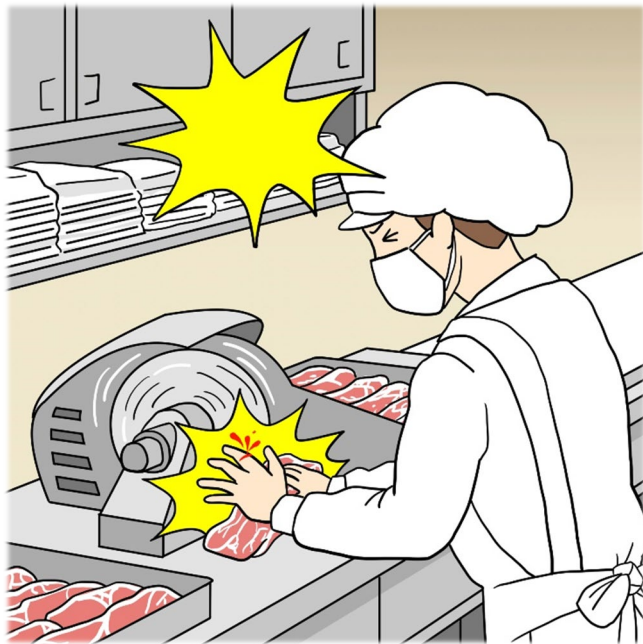
▶ 職場に下記のような災害要因がありませんか？☒チェックしましょう。

*イラストは参考です



転倒災害（倉庫編）

- ☐ 作業スペースや通路に商品や台車等が放置されている
- ☐ 床が凸凹している
- ☐ 床に段差がある
- ☐ 足元が見えない等、無理な運搬作業をしている



切創（スライサー編）

- ☐ 異物を除去するために、機械を停止しないで、手を出している
- ☐ 安全ガードやストッパーを外している
- ☐ スライサー本体と刃の間に、指が入るすき間がある
- ☐ たびたび機械の不具合が起きている



他にも、労働災害が起こりやすい危険があります

- ☐ 防滑靴を履かないで（靴底がすり減った靴で）作業している
- ☐ 私語やよそ見をしながら作業している
- ☐ 床材が滑りやすい
- ☐ ゴム手袋を付けずに洗い物をしている
- ☐ グレーチングが濡れたままになっている
- ☐ 缶の蓋、縁などで手を切ることがあることを教えていない